

毛越寺の地蔵菩薩

地蔵菩薩の像は日本中どこでもよく見られるものです。よく目にするのは、道端や寺の中です。剃髪で、シンプルな衣をまとった僧侶の姿で表現される地蔵は、すべての衆生の守護者であり、苦しみからの救済をもたらす存在です。この像については多くのことはわかっておらず、毛越寺との関係もよくわかっていないが、つくられたのは江戸時代（1603～1867 年）である可能性があるといえます。